

# 天王通り周辺のまちづくりワークショップ かわらばん



## 準備会

開催日時：7月14日（土）

9:30~11:30

会場：津島市観光交流センター

テーマ：「天王通りの再生プランを完成させよう」

参加者：25名

次回以降の予定（※諸般の事情により変更する場合があります。）

	時期	内容
第1回	平成30年 11月12日 14時30分	「天王通りの現状とこれからのまちづくりについて」 整備方針・アンケート結果等について、沿線住民の方も交えて意見交換。
第2回	平成31年 1月中旬	「天王通りのにぎわいのために出来ること」 自分で出来ること、だれかと協力しないと難しいことなど役割分担を整理。
第3回	平成31年 2月中旬	「天王通りの“道路”としてあるべき姿について」 ここまでの検討を踏まえて、道路整備の方向性を考える。

2018年度 WORKSHOP

No.1

### ■暑い夏、熱い議論！

全国的な猛暑。東海地方は例年より早く7/9に梅雨明けし、この日も午前中からぐんぐん気温が上昇しました。そんな中、観光交流センターでは、外の気温に負けない熱い議論が繰り広げられましたよ。

### ■昨年度の議論を引き継いで

#### “ワークショップ” 準備会開催。

昨年3回開催した「天王通り周辺まちづくりタウンミーティング」の内容を踏まえ、今年度は“ワークショップ”の名称で、継続して検討を深めていくことになりました。

今後、より詳細に、より具体的に話し合いをしていく予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、前半テーマは「天王通りの再生プランを完成させよう」。始めに天王通りの整備計画について津島市都市計画課から、昨年度の話し合いで挙げられた意見をまとめて作成した案の説明がありました。（右図にて要点を示します。）今回、これを題材に各グループで意見を出し合っています。



### ■グループで話し合い、全員に向けて発表。

また後半では、「天王通りのまちづくりに多くの方を巻き込みたい！」をテーマに意見交換。これまで、実際に天王通りの近くに住んでいる方のご出席がとて少なかつたので、今後多くの方を巻き込んで実現に向けて進んでいくためにはどんなことをしていけば良いのか考えました。

前後半ともグループで意見を出し合ったあと、簡単にまとめて発表。全員で共有しています。

### 天王通り周辺のまちづくり再生プラン(案)

【お土産屋が建ち並ぶ参道】



【駅から神社への道しるべ】



【歩道幅員を確保した道路】



【空家・空地利用】



【駅とまちなかをつなぐ玄関口】



#### ①神社寄りゾーン

「津島神社の興奮を！」  
「楽しく土産物を買う物できる参道空間。」

#### ②中央ゾーン

「あっと驚く本町筋の仕掛け」  
「駅から見える本町筋との交差点に鳥居を設置」

#### ③駅寄りゾーン

「第一印象を与える玄関口」  
「オフィスや店舗の立地を誘導」

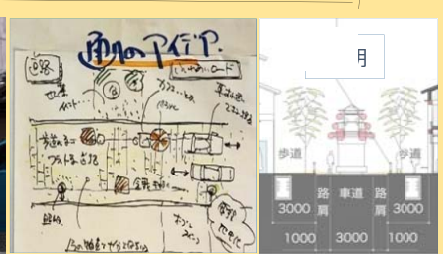
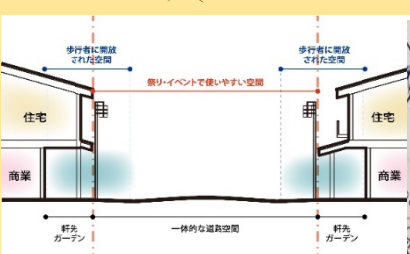
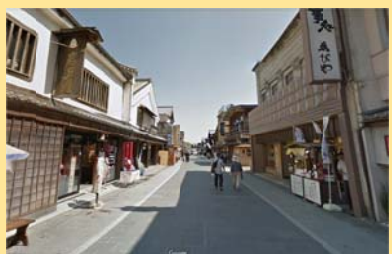


幅員 8m 区間

本町筋

幅員 11m 区間

一方通行



【全幅員を歩行者優先の道路断面図】

【幅員 11mイメージ：一方通行により通過交通を排除し、歩道空間を確保する】

#### <整備コンセプト>

1. 歩行者優先とした歩道空間を拡張。
2. バリアフリーで段差のない道路。
3. 歩道空間を最大限広げ、通過交通を排除する。
4. 将来の社会情勢に合わせて、都市計画道路の廃止を検討。
5. 祭、提灯のモチーフを点在させる。市の顔としてふさわしい通りに。
6. 空き家・空き店舗・空き地を活用。ポケットパーク、壁面アートのにぎわいを生む仕掛けを。

#### <道路づくり>

- ・歩道空間を広げる。
- ・通過交通を排除する。
- ・バリアフリー化して段差がない道路にする。
- ・石畳み等で景観を考えた道路にする。
- ・緑がある道路にする。
- ・ベンチなどの休憩スペースがある道路にする。
- ・夜間は照明で明るい道路にする。

#### <シンボル>

- ・市の顔となる通りにする。
- ・津島駅から神社が感じられない（見えない）ので、見える位置に鳥居等を設置する。
- ・祭り、提灯をモチーフにした照明等を設置する。

#### <景観>

- ・特徴ある通りにする。
- ・提灯をモチーフにした照明にする。
- ・歴史的な本町筋の町並みにつながるような通りとする。
- ・壁面アート等を活用してにぎわいある通りとする。

#### <産業支援>

- ・空き地をポケットパーク化して、イベントスペースとする。
- ・空家を利活用した店舗で、津島神社等のお土産の販売をする。
- ・休日には、歩行者天国とする。

#### 【挙げられた意見】

- ・概ねゾーン区分の考え方は問題ない。
- ・歩行者優先の方針良いと思う。
- ・ポケットパークいいね。
- ・和のモチーフが嫌という人はいない。



- ・通過交通が少なくなるのは良いね。
- ・一方通行は慎重に考えよう。地域の負担にならないように。
- ・緑がまだ不足では？



- ・津島らしさの再発見につながる。
- ・3つのゾーンの中でも神社寄りゾーンから手掛けていくと良い。
- ・財源はどうすれば良い？



- ・シャッターに絵を描いてアートにしよう。インスタ映えを狙って。
- ・一気に全部をやるのは難しいから、一つずつ実際にやってみると良い。

## Aグループの提案

### 津島らしさを演出できそうだ

- ・津島らしさの再発見につながる。
- ・このゾーニング良いと思うよ。
- ・看板・マップ設置すれば景観上の特徴になる。
- ・どこに財産・魅力があるのか、地元の人は知っている。でもアピールが足りないね。
- ・価値ある建物の移築・移転 ⇒街並みの形成につながる。
- ・魅力とは本物であること。価値ある建物の移築を真剣に考えた方が良い。

### もっともっと考えなければいけない

- ・今日の案は機能的だけど、景観の観点で魅力に欠けるのではないかな。緑も不足だ。



- ・都市計画全体を見直さないと。破綻している部分があるのでは。
- ・もっと津島らしさを前面に！
- ・天王通りだけでなく、周りに広がるまちづくりを推進せねば。
- ・道路の冠水と透水・排水対策は？ ⇒沿線の土地と一体で考えないと。

### 住民の負担をどう考えれば良い？

- ・道路空間として提供してもらうには、オーナー（地権者）の多大な協力が必要。かなり負担を強いることになる。
- ・市民の努力を促す必要がある。
- ・財源はどうすれば良い？ ⇒クラウドファンディングや寄付を募るという手もある。

### こうすればもっと良くなる！！

- ・インフラ（ハード）も大事だがどこでどんなイベント（ソフト）ができるかという観点も大事。人が来ることの習慣化につながる。
- ・出張・出前講座 ⇒みんなに知ってもらう。
- ・歴史を知ることから魅力 ⇒情報を発信してネットワーク化。
- ・中間ゾーンは整備の仕方が重要。にぎわい生活空間になれば良い。
- ・空き家を活用してオープンスペース。

### 多くの人を巻き込む方法について

- ・キャッチコピーで呼び込もう。少々センセーショナルに。「都市計画道路廃止」という文字が目に入れば、自ずと関心高まる。
- ・市でなく市民団体が動くべきか。町内会の要の人と話をすべき。
- ・今日の市の提案は新たな利害を生みそう。まちづくり団体が動く事がはたして良いのかどうか。
- ・事業の経緯をみんなに伝えるべき。今までどんなことがあったのか確認。
- ・まちづくりストーリーを発信しよう。
- ・スケジュール/概要/方針を伝えよう。
- ・市の政策に関心がない？ ⇒たとえ関心あってもわざわざ調べるのはなかなか難しいこと。 ⇒これからのビジョンを伝えるべき。



## Bグループの提案

### ゾーンの区分について

- ・神社寄りゾーン、中央ゾーン、駅寄りゾーンに分けて、そのゾーンごとにやるべきことを考えることは賛成である。
- ・整備については、ゾーン毎に時期や内容を考えていくとよい。
- ・3つのゾーンの中でも、神社周辺のゾーンから手掛けて行っていくことがよい。



### 神社寄りゾーンについて

- ・神社寄りゾーンには、観光地として大いに魅力がある。
- ・神社寄りゾーンがおはらい町のようになればよいと思う。
- ・神社寄りゾーンは、市が石畳などを整備してほしい。
- ・祭りのときなどに移動販売車などが集まれば賑わうのではないかな。

### 交通アクセスについて

- ・観光客は、国道155号線からは自動車でのアクセスもよい。
- ・無理に天王通りに駐車場を確保しなくても、国道155号線などの周辺に駐車場を設置し、神社などにアクセスする方法もある。
- ・駅から神社周辺に向けては、シャトルバスや貸自転車でのアクセスが有効ではないかな。

### 中央ゾーンと駅寄りゾーンについて

- ・神社寄りゾーンに賑わいを起こすことができれば、自然に中間ゾーンは市民が、駅周辺は名鉄が中心になって街並みが整うのではないかな。
- ・駅の西側は、名鉄が土地を所有しているため、特に名鉄の協力が必要である。
- ・一番大事なのは、沿線住民の意見を聞いて進めていくことだ。



### 一方通行について

- ・今でも天王通りに行くのに、ますます駅に行く自動車が増えることになり、駅に行くのがかなり不便になるのでやめてほしい。
- ・通勤時には、海津・立田から津島駅に送り迎えする車が多い。
- ・駅の送り向かいに天王通りが利用されているので、天王通りを通らなくても駅に迎える道の整備をすることを説明しなくては、一方通行は難しい。
- ・一方通行の話を出す前に、沿線住民には天王通り以外の道路整備も含めて説明すべきである。

### 多くの人を巻き込む方法について

- ・広報にワークショップ開催を載せる。（お年寄りにはHP等を見ない。）
- ・現地を歩くワークショップにしたら。
- ・お寺を活用したワークショップも。
- ・夢を語る雰囲気を残しておかないと。
- ・期間限定イベント（商店街まつり）等とのコラボ。
- ・若い人が参加しやすい雰囲気が大事。



## Cグループの提案

### 概ね良いと思う

- ・ゾーン区分は、まあいいじゃないかな。
- ・歩行者優先の方針、良いですね。
- ・ポケットパークや座れるベンチ欲しいね。
- ・1km（駅ー神社）歩くのに休憩場所がないとツライ。ポケットパークいいね。
- ・夢は必要。ただ、絵に描いた餅にならないように留意が不可欠。

### 近隣住民の負担について

- ・軒先ガーデンのアイデアは、道路を広げなくもいいから良いね。でも地権者が提供しないとイケないでしょ。同意が得られるかなあ。
- ・一方通行でいいと思う。特に道路幅広げなくて良い。
- ・でも、一方通行を近隣の人達OKしてくれるかなあ。負担だと思ふよ。
- ・一方通行の向きは反対では？神社に向かう方向ではないかなと思う。
- ・一方通行として車の流れは混乱しないか？市は交通量調査のデータで判断しているの？データとシミュレーションがあれば開示してほしい。
- ・一方通行は常時かな？土日かな？それだけ近隣の負担が違ふと思うよ。



### 実現のためには人を増やさないと

- ・駅に観光案内が無いのはイタい。
- ・人がいない。歩行者を調査してシミュレーションしないと判らないのでは？
- ・人が歩いて楽しいまちにしないと。
- ・空き地や駐車場所有者をターゲットに違う活用を働きかけられないものか。
- ・人が増えれば売上げ増を期待できる。

### シンボル性の演出について

- ・でっかい鳥居のモニュメントは神社目的以外の方には疑問じゃないかな。
- ・鳥居のモニュメントよりものれんを統一した方がいいよ。
- ・鳴海や有松では「絞」ののれんにしているらしいね。
- ・シンボリックって言うても、現実可能性の高いものにしないとね。
- ・鳥居風のオブジェでいかが。
- ・提灯がいいじゃない。お祭りのときに「献灯」って吊り下げているじゃん。
- ・最近は天王祭でも提灯を出してくれない家が多くなったけど、なおさら働きかけるのいいじゃないかな。

### インスタ映えを狙って

- ・シャッターに絵を描いてアートにしよう。インスタ映えを狙って。
- ・アートなエンジェルの羽を描いておくと、写真撮って情報発信してくれる。
- ・エンジェルマークは津島ならではの藤の花をうまく使ってデザインして。

### 多くの人を巻き込む方法について

- ・できることから。シャッターに絵を描くのは、契機として良いと思う。
- ・和文化（のれん、提灯）を嫌いという人は、まずいない。
- ・自分の利益になれば、必ず関心向くはず。
- ・ワークショップ開催日、土日は忙しいかも。
- ・お寺忙しい。日にちを分けてWS開催も。
- ・仏教会に声をかけて動員。
- ・資産運用と生活の両方の視点に留意。
- ・一気に全部をやるのは難しいから、ひとつずつ実際にやって見せてあげるとよい。
- ・一方通行はデータを示さないと反発を受けるだろうね。

